



平成 29 年 6 月 6 日

川の中の生きものを調べてみませんか

～平成 28 年度全国水生生物調査結果と平成 29 年度調査の参加者募集～

北海道開発局における平成 28 年度全国水生生物調査結果と、平成 29 年度調査の参加者募集についてお知らせします。

平成 28 年度調査には、2,838 人の方に参加していただきました。平成 29 年度も多くの方の参加をお待ちしております。

環境省と国土交通省では、水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するとともに、環境問題への関心を高めるため、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。

北海道開発局における平成 28 年度の調査では、以下のような結果がまとまりました。(別紙を参照)

- ① 北海道内調査地点 51 地点のうち、49 地点でカワゲラ、ヒラタカゲロウ類の指標が確認され、「きれいな水」と判定されました。(道内調査地点の 96%)
- ② 参加者は、小中学校・高校が 94%、市民団体等が 6%となっております。

水生生物調査とは、河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況に、水質汚濁の影響が反映することから、実際に川の中に入って採取した水生生物により水質の判定を行うもので、誰でも簡単に参加できる調査です。

調査の参加を希望される方は、別紙のお問合せ先まで、ご連絡ください。

また、全国の調査結果は、国土交通本省及び環境省から発表されています。
詳細は国土交通省のホームページをご覧ください。

(国土交通省 報道・広報 URL)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000050.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

建設部 河川管理課 低潮線保全官 福田 義昭(内線 5323)

建設部 河川管理課 低潮線保全係長 川井 淳一(内線 5970)

平成28年度全国水生生物調査の結果（北海道開発局分）及び 平成29年度の参加者募集について

1. 全国水生生物調査とは

(1) 調査概要

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。この調査は、子どもたちにもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから、誰でも簡単に参加できることが大きな特徴です。

また、調査を通じて身近な自然環境に接することにより身近な環境問題への関心を高めるよい機会でもあることから、環境省と国土交通省では、昭和59年度から全国水生生物調査を実施しています。

(2) 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定します。

2. 平成28年度調査結果（北海道開発局分）

○参加者数

平成28年度の参加者は、2,838人でした。

参加者数	2,838人
参加団体数	58団体
調査地点数	51地点

○水質判定結果

平成28年度は、全調査地点の96%の地点で「きれいな水」と判定されました。

		地点数	全調査地点における割合
Ⅰ	きれいな水	49地点	96%
Ⅱ	ややきれいな水	2地点	4%
	計	51地点	

*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。



3. 全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問合せ先

平成29年度も市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。調査への参加を希望される方は以下のお問合せ先までご連絡ください。

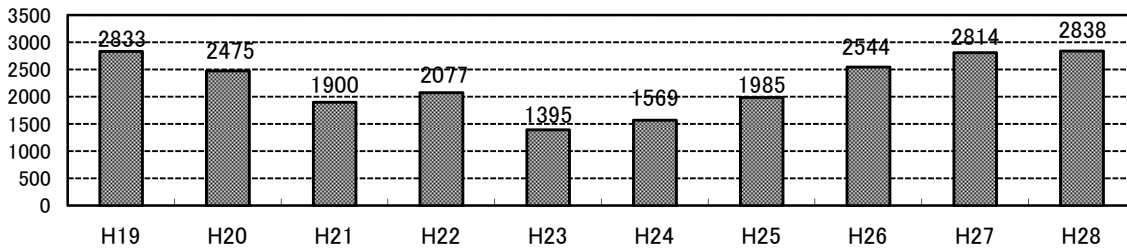
部局名	担当課	電話
北海道 開発局	建設部 河川管理課 〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目	011-709-2311
札幌 開発建設部	公物管理企画課 〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目	011-611-0328
函館 開発建設部	工務課 〒040-8501 函館市大川町1-27	0138-42-7604
小樽 開発建設部	工務課 〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15-5	0134-23-5195
旭川 開発建設部	公物管理課 〒078-8513 旭川市宮前1条3丁目3-15	0166-32-1487
室蘭 開発建設部	治水課 〒051-8524 室蘭市入江町1-14	0143-25-7045
釧路 開発建設部	治水課 〒085-8551 釧路市幸町10丁目3	0154-24-7250
帯広 開発建設部	治水課 〒080-8585 帯広市西4条南8丁目	0155-24-4105
網走 開発建設部	治水課 〒093-8544 網走市新町2丁目6-1	0152-44-6471
留萌 開発建設部	治水課 〒077-8501 留萌市寿町1丁目68	0164-43-5515

平成28年度全国水生生物調査結果（北海道開発局分）

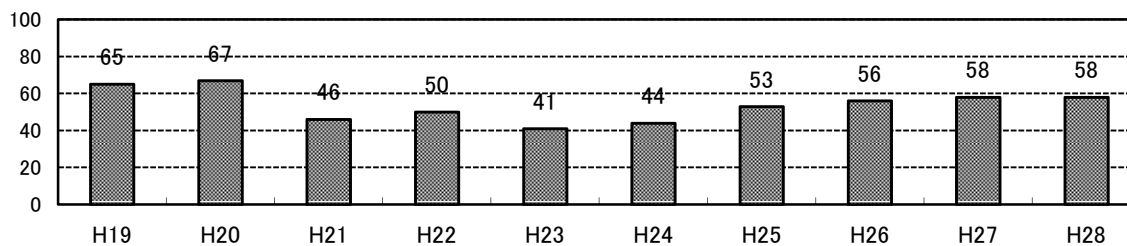
1. 参加人数及び団体数

平成28年度の参加人数は、延べ2,838人となりました。参加団体別参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで高校の参加が多くなりました。

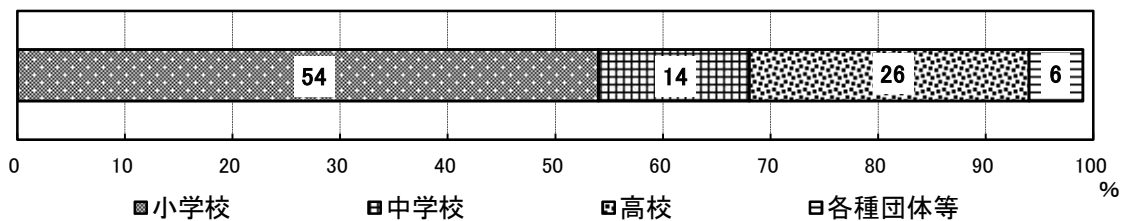
○ 参加人数の推移



○ 参加団体数の推移



○ 参加人数の団体別構成比

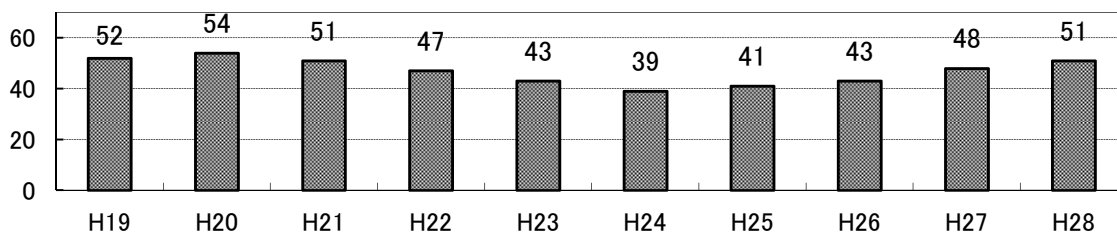


*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

2. 調査地点数

平成28年度の調査地点数は51地点でした。

○ 調査地点数の推移

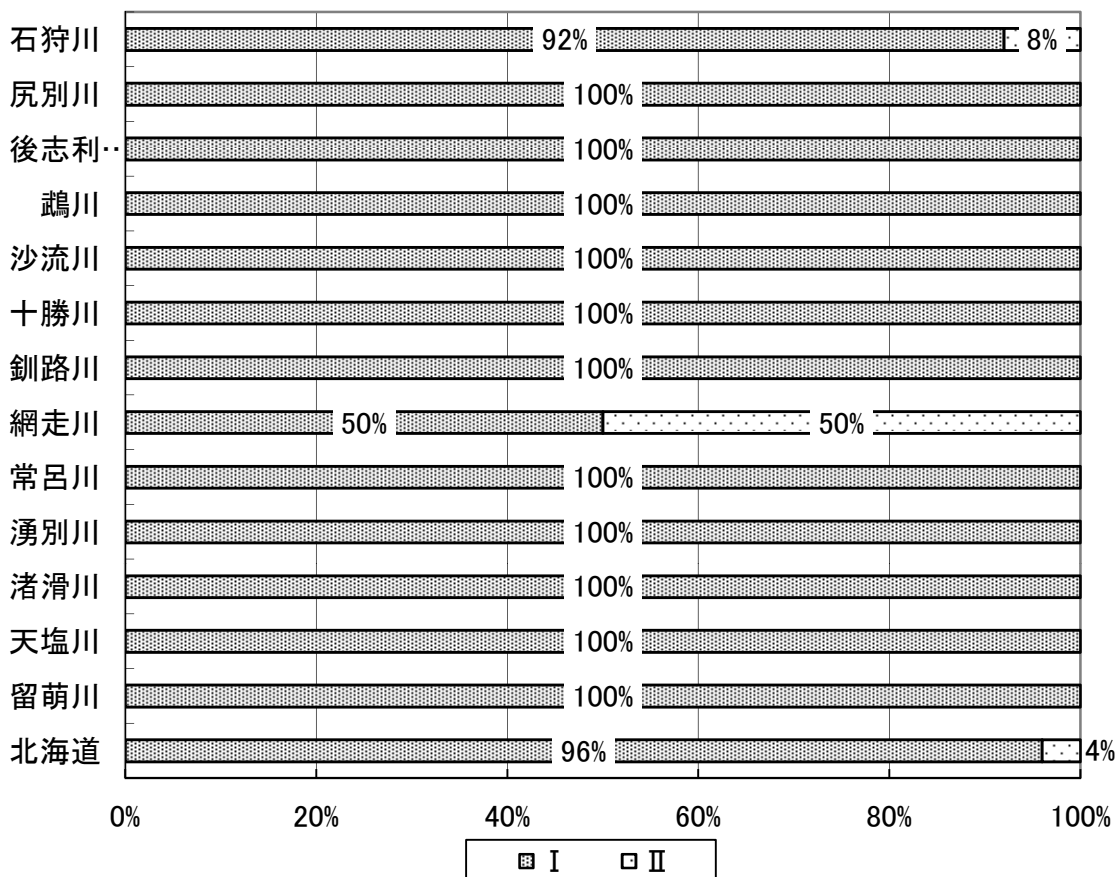


3. 河川別水質階級構成

本調査は、河川の水質を概括的に知ることができると考えられます。

平成28年度は、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が96%、Ⅱ（ややきれいな水）が4%、Ⅲ（きたない水）及びⅣ（とてもきたない水）に判定された地点は確認されませんでした。

○河川別の水質階級構成

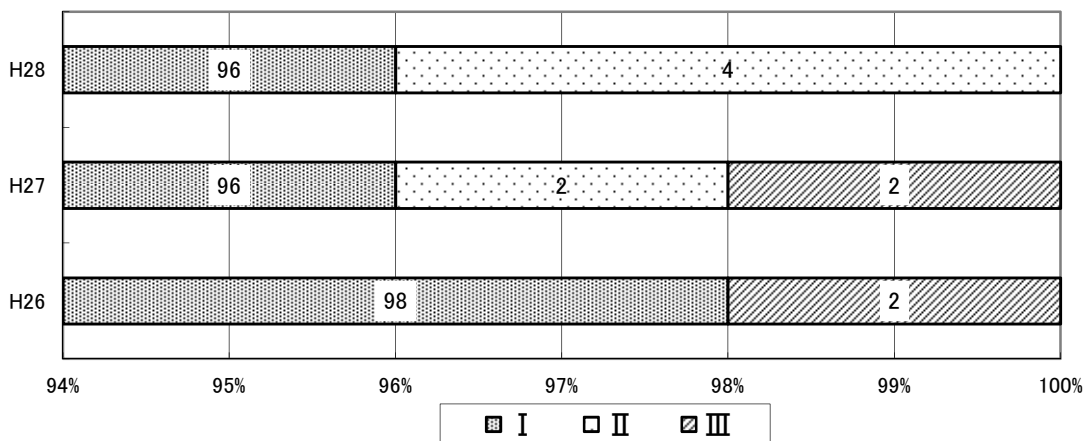


*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

4. 水質階級構成比の年次推移

年度ごとの調査地点は相違しており、必ずしも同地点を比較したものではありませんが、過去3カ年の推移を見ると、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点は、おおむね9割以上を示しています。

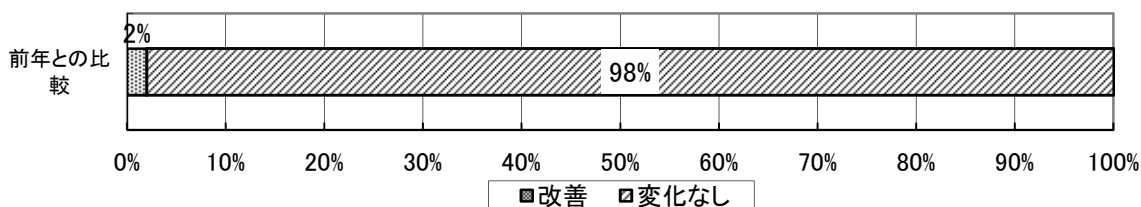
○ 水質階級構成比の年次推移



*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

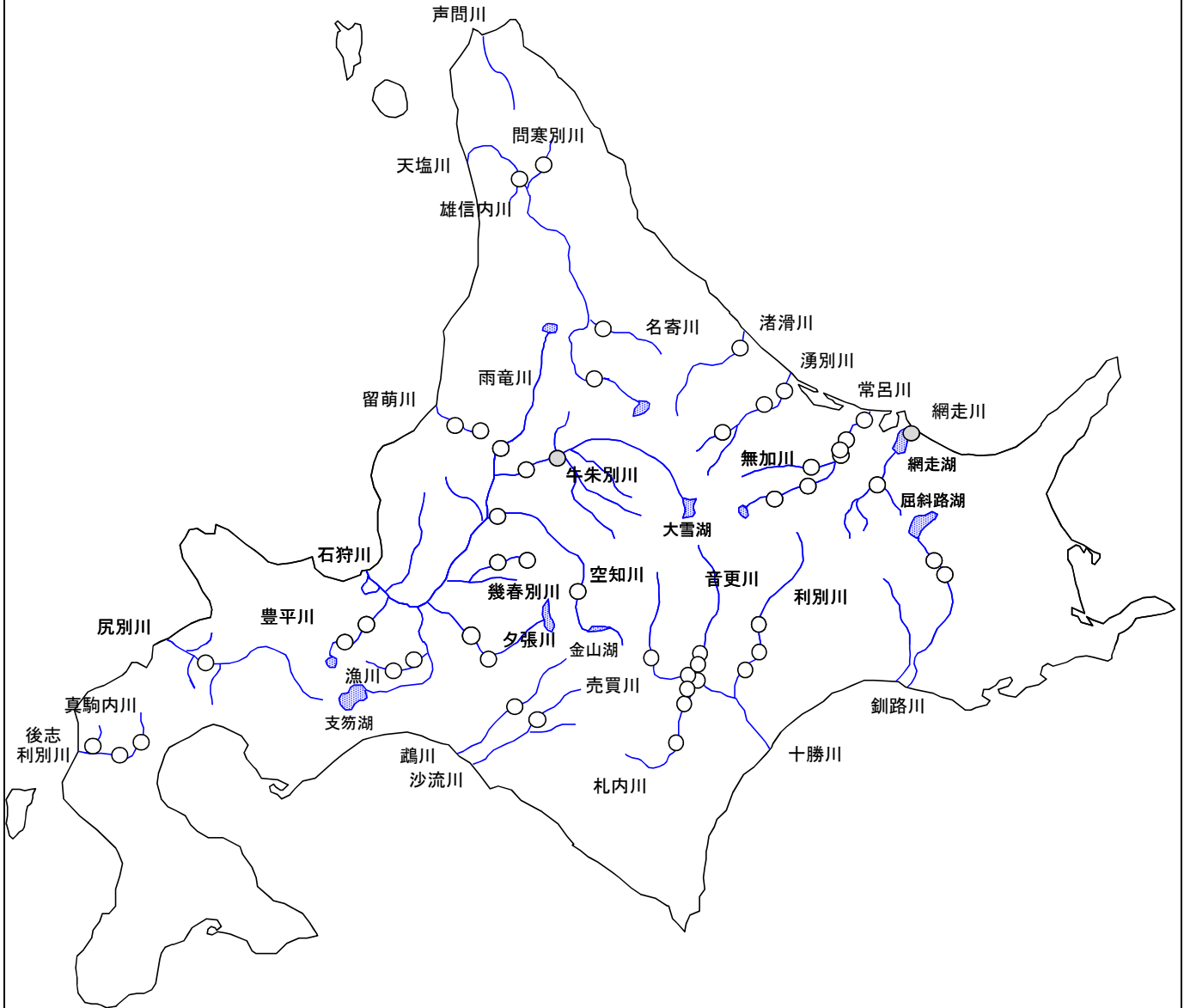
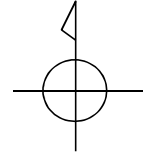
5. 前年度（H27）の一級河川水質調査地点との比較

前年度と同じ一級河川調査地点で調査された41地点について比較すると、水質等級で1地点2%が改善されました。



*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

平成28年度 水生生物調査地点位置図(北海道)



水質階級	記号
I. きれいな水	○
II. ややきれいな水	◐
III. きたない水	●
IV. 大変きたない水	●
判定不能	△

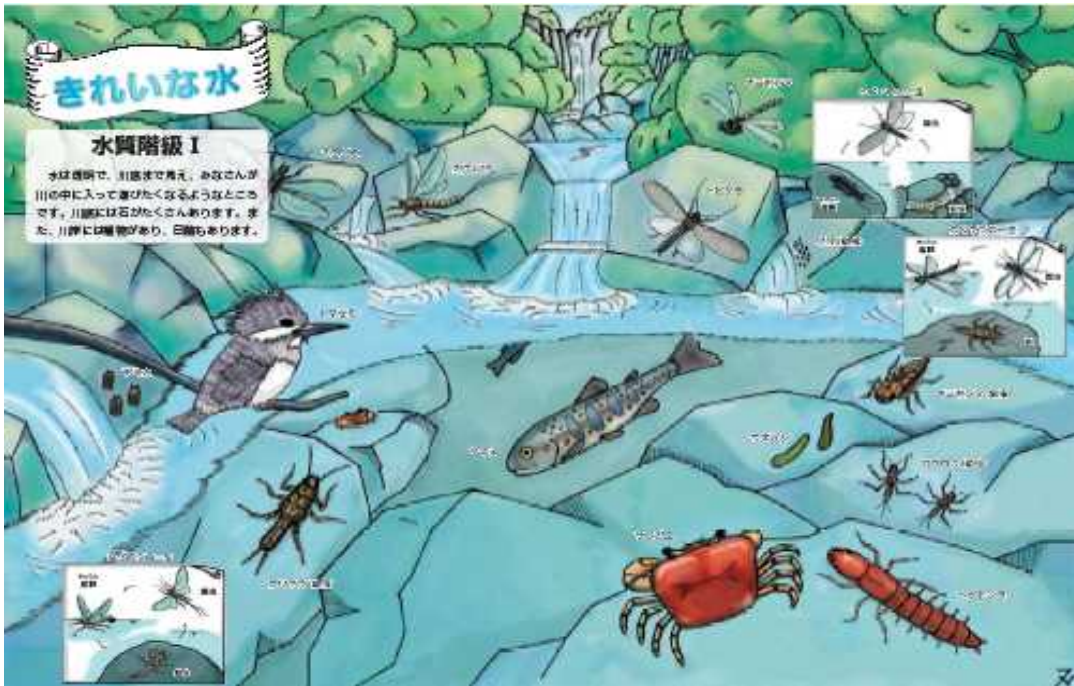
全国水生生物調査の概要

【参考1】

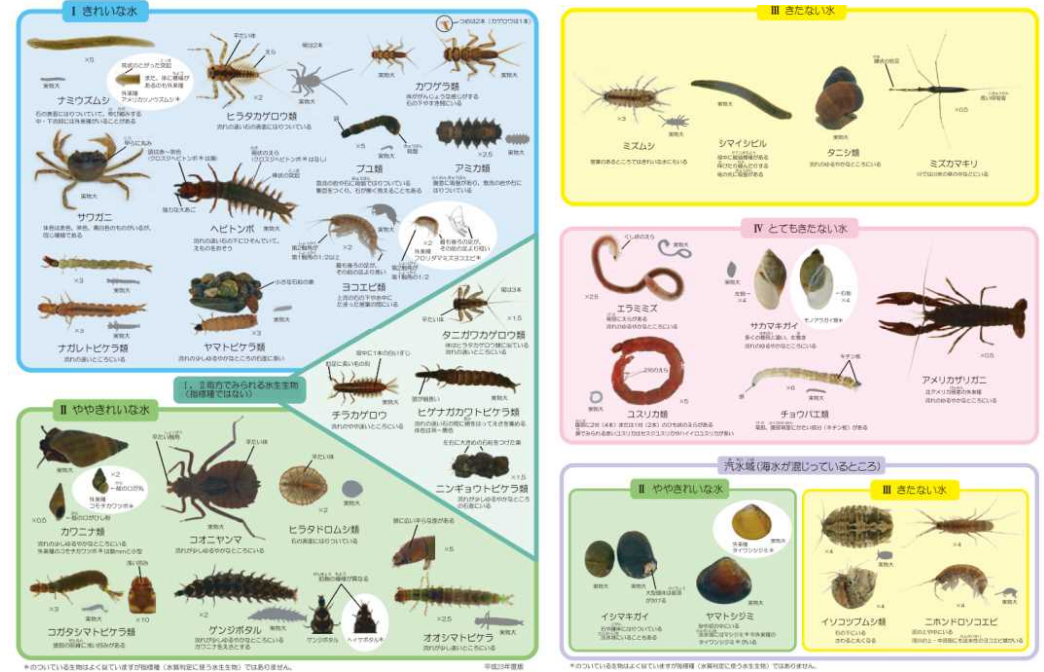
川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べるにより、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I(きれいな水)、II(ややきれいな水)、III(きたない水)、IV(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワコナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロマシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アマカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマクリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ホンドロソコエビ	○ イソコツブムシ類	チョウバエ類	
I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物